

地域中小企業事業者・自治体のマーケティングサポート (学生の参加あり)

研究内容

ゼミ学生も参加し、県内中小企業事業者とコラボし、教育的側面を持った新商品開発を行う。中小企業事業者は良質な地元素材を用い、伝統的製法を守り抜き、質の高い産品を生み出し、それらを知る世代に親しまれてきた。しかし共通課題として、マーケティング担当者不在、アピール不足、若年世代のニーズに合わせた新商品開発力不足などが挙げられる。そこで企業側人材にプロジェクトに参加していただき、マーケティング理論の概説によりプロセス理解を進め、協業により実践的な商品開発を行う。学生のアイデアと斬新な発想を若年層ターゲット向けに発信し販路開拓に結びつける。さらには県内の産業同士を結びつけ、経済波及効果とネットワーク拡大効果も狙う。地域人材・学生の交流が地域活性化、学生の地元定着と持続可能な経済成長に繋がることも期待している。

地域・産学連携の可能性

- ①登米市津山地域 道の駅「もくもくランド」活性化プログラム、わざわざ立ち寄りたくなる魅力づくり。
- ②登米市産業経済部 地域おこし協力隊、「木工芸支援員」育成サポート。
- ③(有)スマッシュ、紙製品の需要拡大のための紙製品アイデア(不便解消、紙以外から紙製へ)
- ④南三陸ホテル観光、台湾かインターンシップ学生と本学学生によるホテル・お土産及び日本文化紹介映像作成。
- ⑥(株)アロマコロジエなかじま、紙絵の具新用途開発、描きやすいチューブとケース、ラベル作成による入門キット作成。
- ⑦(農)水鳥、しいたけジャム等、家庭用・高速サービスエリアで販売するしいたけの新レシピ開発。
- ⑧(株)高浜、鶏塩おでん、新商品・レシピ案及び宮城県名産コラボのギフトセット提案。
- ⑨ワイケイ水産(株)、骨抜き・血合い除去処理魚の消費拡大のための若者世代へのレシピ提案。

このテーマに関連する東北SDGs研究実践拠点 地域・地場産業振興研究拠点

このテーマに関連するプロジェクト研究所 マーケティングサポート研究所

このテーマに関連するSDGs開発目標



図1: コラボ企業・特許事務所・学生を交えた研究室ミーティング



図2: コラボ企業の食材を用いた調理後のレシピ改良ミーティング



図3: 地域の産業フェアに出店、コラボ企業商品の販売促進のための呼び込み



ライフデザイン学部 経営デザイン学科 マーケティング、アメリカ労働市場、人的資源管理

佐藤 飛鳥 SATO Asuka

准教授、博士(経済学)

URL <https://marketingsupportlab.wixsite.com/marketingsupportlab>



執筆論文

「地域企業との連携による PBL 型新商品開発マーケティング」『日語教育与日本学研究-大学日語教育研究国際検討会論文集 (2014)』pp.216-220、2015 年 5 月、華東理工大学出版社。



KeyWord

マーケティング、新商品開発、販路開拓